

2020年(令和2年)3月27日(金曜日)

## 小松のイケガミも 金沢の病院に寄贈

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響でマスクの品薄が続く中、小松市今江町の建材メーカー「イケガミ」は二十六日、金沢市小

荒木一郎病院長(左)にマスクを手渡す池上茂雄社長(右)＝金沢市小坂町の浅ノ川総合病院で



坂町の浅ノ川総合病院にマスク約四百枚を寄贈した。池上茂雄社長が同院を訪

れ、荒木一郎病院長に手渡した。浅ノ川総合病院では、二月中旬から十分なマスクが入手できなくなり、患者と接する医師や看護師に優先して使用させる対応を取っていた。荒木病院長は「助かります」と感謝を伝えた。

イケガミは一月上旬、マスク不足に悩む中国の取引先企業に六千枚を寄贈。このお礼にと中国企業から二月、マスク約一万枚が送られてきた。病院や社会福祉

法人など、マスク不足の影響が深刻な公共施設に贈っている。

「中国企業とは二十年以上の取引があり、商売ではなく人と人の付き合いをしてきた」と池上社長。住む場所は異なっても、同じ空でつながっているという意味の漢詩「山川異域 風月同天」を添えて中国企業にマスクを送った。「同じ言葉を添えてもっとたくさんマスクが送られてきた」と笑顔で話した。(戎野文菜)